

に 21 百万円 可決

一般会計と特別会計

国民健康保険事業
19億7,783万円
(1億950万円)

老人保健事業特別会計
769万円(128万円)

後期高齢者医療制度特別会計
5億3,309万円
(3億8,454万円)

介護保険事業特別会計
19億9,644万円
(3億3,472万円)

介護サービス事業特別会計
1,368万円

農業集落排水事業特別会計
5,319万円 (3,867万円)

一般会計

合併後の町政の最大の課題は財政の再建である。基本路線を継続するなかでの予算審査は、負担とサービスのあり方、更に不況の最中での経済対策、急激に所得減少した方々への対応が中心となった。

●福田義人 不況下での税収見通しは。

■税務課長 法人については前年比67%を見込む。個人の影響は大きくは来年度となる。

H21年第1回定例会は3月4日招集。一般会計予算114億21百万円をはじめ6件の特別会計と3件の企業会計のすべてを、原案通り可決して3月23日閉会した。

一般質問は6・9の両日、14人が30項目にわたって行政を質した。二つの常任委員会と二つの特別委員会の各々の事務調査に加え、予算審査特別委員会を設け、三日間の予算集中審議を行い、付帯意見を付け可決した。

●永田英則 旅行村にはこれまでも大きな投資をしているが、方向性は。

■副町長 直営・指定管理・譲渡・廃止の四点で検討中。予算はしてあるが、方向が定まらないと執行しない。一番心配なのは地元や周辺への影響。

●豊田勲 公共料金を値上げするなかで、給与・報酬のあり方は。

■副町長 職員組合との交渉で、士気にかかわる面もあり、ここで一度考えるべきとの意見だった。

■町長 財政に一定の方向性はみえた。経済状況をみきわめて再考する。

賛成討論

徳光 義昭

H20年度までに一定の財政健全化に効果を出している。H21年度から新革改プランを策定し、実現していないものも積極的に取り組む意欲が示された。

「活力と再生」「集中選択」もキーワードに、厳しいなかで新しい時代を切り拓く意味で賛成する。

歳出予算

会計名	予算額	対前年度増減額	採決の状況
一般会計	114億2100万円	0.5%	賛成12反対3可決
国民健康保険	19億7783万円	△4.1%	賛成12反対3可決
介護サービス事業	1368万円	0.6%	賛成12反対3可決
老人保健	769万円	△97.5%	全員賛成
介護保険	19億9644万円	△1.5%	賛成12反対3可決
後期高齢者医療	5億3309万円	9.2%	賛成12反対3可決
農業集落排水事業	5319万円	△0.8%	全員賛成
上水道事業	2億7836万円	3.0%	賛成12反対3可決
簡易水道事業	12億6775万円	40.6%	賛成12反対3可決
公共下水道事業	3億9885万円	△37.4%	賛成12反対3可決
合計	179億4788万円	△1%	

特別会計

い い よ ~ 一般会計予算 114億

平成21年度予算審査付帯決議

- 1 町内においても経済不況の波が押し寄せ深刻な事態になっている中、引き続き財政再建が急務となっているが、住民サービスが低下しないよう行財政改革推進プランにかかげた内容は、確実に実施されたい。
- 2 下水道事業は多額の財政負担を伴うので、財政健全化計画に沿って執行されたい。
- 3 審議の過程において指摘した事項については、今後の行政執行に反映されたい。

企業会計は繰出金で
つながっています

上水道事業会計
2億7,836万円
(1億1,978万円)

簡易水道事業会計
12億6,775万円
(4億872万円)

公共下水道事業会計
3億9,885万円
(2億2,080万円)

繰出金総額 16億1,

()内は一般会計からの繰出金

企業会計

公営企業3会計には合計8億円余が一般会計から繰出される。西世羅地区の簡易水道は今年で工事完了。上水道は山田川ダムからの取水工事をH20年に終えた。また公共下水道は一部供用開始する。企業会計である以上、収支面での独立性が求められ、一方では所得状況に応じた負担のあり方が求められる。とりわけ公共下水道につ

特別会計

昨秋以降の急激な不況で職を失われた人の多くは国民健康保険へ加入されている。反面、家計収入の減少で、国保税や公共料金の負担は、日々の生活にとどまらず、生存権までおびやかしかねない。

いては投資額が大きいことから、町財政との整合性を問う意見が多く出された。

反対討論

矢山 武
深刻な不況の中、暮しが心配される。限られた予算とはいえ、安心して暮らせるまちづくりの方向を変えるべき。交付税措置があるとはいえ、多額の繰出金は適切とは言えない。

また保険事業会計では、所得の少ない人でも負担できる保険料とすべき、とりわけ「一生懸命がんばってきて、天寿をまっとうできる社会」に、後期高齢者医療制度は逆行する。

矢山武

失業などで急激に所得低下した場合、年金の他は臨時的なわずかの収入のみのような場合、軽減策を具体化すべきでは。

■税務課長 状況によつては分割納付や徴収猶予はある。また一定

の納付があれば、国保は資格者証で対応。

●仲行洋 高額医療費貸付制度の実態は。

■保健福祉課長 H20年度の利用はほとんどない。外来で多額の医療費がかかる場合に備え、様子をみたい。

歳入予算

地方債残高(町の借金) 平成20年度末見込み

地方債(一般会計)	187億6932万円
上水道事業債	17億2289万円
簡易水道事業債	17億 919万円
下水道事業債	12億2427万円
農業集落排水事業債	3億4878万円
合 計	237億7445万円
町民1人当たりの借金	127万円

基金・積立金(町の貯金) 平成20年度末見込

財政調整基金他14会計	50億9821万円
一人当たりの貯金	27万円

H21年4月1日現在人口 18,714人